

## 目的

この資料では、Nagios XI 仮想マシン (VM) のディスクサイズを増やす方法について説明します。

## 対象読者

この資料は、VMware 仮想マシンで稼働している Nagios XI のディスクサイズを増やしたい Nagios 管理者を対象としています。

## 準備作業

**重要！** 仮想マシンのサイズ変更作業によりシステムが破損する可能性があります。  
作業を開始する前に、Nagios XI インストールのバックアップを取得してください。

## 仮想ディスクのサイズ変更

最初に、Nagios XI 仮想マシンイメージに割当てているディスク容量を変更します。

VMware ESX サーバには仮想マシンが稼働した状態で仮想ディスクサイズを変更する機能があります。環境によってはこれが安定して動作しない可能性があるため、この機能は使用しないでください。仮想ディスクサイズを変更する前に仮想マシンを停止させてください。

Step 1. Nagios XI サーバが起動中の場合は、停止させます。

Step 2. 仮想マシンのディスクサイズを変更します。

### VMware ESX の場合：

Step a. 仮想マシンを選択して「サマリ」を選択します。

Step b. コマンドセクションで「設定の編集」をクリックします。

Step c. 「ハードウェア」タブ画面で「ハードディスク 1」を選択して「プロビジョニング済みサイズ」に新しいサイズを入力します。

Step d. 「OK」をクリックします。

### VMWare Player の場合：

Step a. 仮想マシンを選択して「仮想マシン設定の編集」を選択します。

Step b. 「ハードウェア」タブ画面で「ハードディスク(SCSI)」を選択して「ユーティリティ → 拡張」を選択します。

Step c. 「ディスク最大サイズ」に新しいサイズを入力します。

Step d. 「拡張」をクリックします。

Step e. 「OK」をクリックします。

Step f. 仮想マシン設定画面の「OK」をクリックします。

## パーティションのサイズ変更

次に、Nagios XI 仮想マシン内の Linux パーティションテーブルを編集し、変更したディスクサイズを認識させます。この作業には `fdisk` ユーティリティを使用します。仮想マシンでは `sda1` が boot パーティション、`sda2` がすべての論理ボリューム用の物理デバイス(後で編集します)となっています。

Step 1. Nagios XI 仮想マシンを起動します。

Step 2. ターミナルエミュレータを起動し、Nagios XI システムにログインします。

Step 3. `sda2` のサイズを変更するために親デバイスである `sda` を開きます。以下のコマンドを実行します。

```
# fdisk /dev/sda
```

Step 4. 現在のパーティションテーブルを確認します。  
`p` を入力して `Enter` キーを押します。

```
Command (m for help):p
```

Step 5. パーティションを一度削除し、新しいサイズでパーティションを作り直します。このとき、新しいパーティションの始点は現在のパーティションの始点と同じセクタ/シリンダとしてください。

```
Command (m for help): d
Partition number (1-4): 2
Command (m for help): n
Command action
  e extended
  p primary partition (1-4)
p
Partition number (1-4): 2
```

Step 6. デフォルトの始点と終点を受け入れます。前に確認した情報と比較して妥当かどうかを再確認してください。

Step 7. パーティションタイプが正しく設定されているかを確認します。

```
Command (m for help): t
Partition number (1-4): 2
Hex code (type L to list codes): 8e
Changed system type of partition 2 to 8e (Linux LVM)
```

これで、ディスクサイズが変更されました。

Step 8. パーティションテーブルをディスクにコミットします(書き込みます)。

**メモ:** 新しいパーティションテーブルを表示して設定が正しいか確認することをお勧めします。

```
Command (m for help): w
The partition table has been altered!
```

Step 9. 仮想マシンを再起動し、カーネルに新しいパーティションテーブルを認識させます。

```
reboot
```

## 物理ボリューム(PV)のサイズ変更

Nagios Enterprises 社が作成した仮想マシンイメージにインストールされている GentOS システムはパーティションに Logical Volume Management (LVM) が使用されています。

LVM について詳しく知りたい場合は以下をご参照ください:

- **Logical volume management** (英語)  
[http://en.wikipedia.org/wiki/Logical\\_volume\\_management](http://en.wikipedia.org/wiki/Logical_volume_management)
- **論理ボリュームマネージャ** (日本語)  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%AB%96%E7%90%86%E3%83%9C%E3%83%AA%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%83%9E%E3%83%8D%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%83%A3>
- **LVM HOWTO** (英語)  
<http://www.tldp.org/HOWTO/LVM-HOWTO/>

新たに増やしたディスクスペースを使用するには、LVM が、それが存在し使用されるべきであることを知っている必要があります。ここでは、物理ボリュームのサイズを新しいパーティションサイズに合うよう調整します。物理ボリュームを自動的にこのデバイスで利用可能なすべての空き容量を使用するよう拡張させてみます。

以下のコマンドを実行します。

```
# pvresize /dev/sda2
```

## 論理ボリューム(LV)のサイズ変更

次に、論理ボリュームのサイズを変更して、新しいスペースを LVM 物理ボリュームで使用できるようにします。ここでは、すべてのスペースを使用するために、以下のコマンドを実行します。

```
# lvresize /dev/mapper/VolGroup-lv_root /dev/sda2
```

## ファイルシステムのサイズ変更

最後に、そのスペース内にファイルを置けることを教えるため論理ボリューム上に存在するファイルシステムを変更します。以下のコマンドを実行して、論理ボリューム上のすべてのスペースを使用できるようにファイルシステムのサイズを変更します。

```
# resize2fs /dev/mapper/VolGroup-lv_root
```

これで完了です。df -h でファイルシステムのサイズと使用量を確認してください。

## お問い合わせ

弊社では、Nagios XI に関するご意見、フィードバックをお待ちしております。  
Nagios XI についてご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせください。

ジュピターテクノロジー株式会社 (Jupiter Technology Corp.)

住所: 〒183-0023 東京都府中市宮町 2-15-13 第 15 三ツ木ビル 8F

URL: <http://www.jtc-i.co.jp/>

電話番号: 042-358-1250

FAX 番号: 042-360-6221

ご購入のお問い合わせ:

お問い合わせフォーム <https://www.jtc-i.co.jp/contact/scontact.php>

メール [sales@jtc-i.co.jp](mailto:sales@jtc-i.co.jp)

製品サポートのお問い合わせ:

カスタマーポータル <https://www.jtc-i.co.jp/support/customerportal/>

日本語マニュアル発行日 2016 年 03 月 05 日  
本マニュアル原文 Nagios XI – Resizing the VM Disk Size  
Revision 1.0 – March, 2015

ジュピターテクノロジー株式会社